

相原村文書 『郡役所往復書』（明治二十七年一月起）

○明治二十八年十二月二十七日 庶第二一四七号

庶第二一四七号

征清役ニ従軍シタル雇員又ハ軍役夫ノ内、死傷者手当金、又ハ  
吊祭料并ニ遺族扶助料下賜ノ義ニ付テハ、過般来已ニ提出シタ  
ル願書ハ殆ト不完全ニシテ、右等ハ無據一旦返送シ、修正ヲ要シ候為  
メ速ニ其筋へ進達ヲ得サル等相互ノ手数ノミナラス、出願者ノ  
不便尠カラサルニ依リ、右調査之要スル手續、左記ノ通決定候  
旨第一師団副官ヨリ通牒之趣、県庁ヨリ通知有之候条、  
自今各町村長ニ於テ該手續ニ依リ、篤ト調査ノ上提出  
候様被致度、此段及御通達候也

明治廿八年十二月廿七日

高座郡役所



相原村役場 御中

（願書調査手順書は省略）